

検査値の読み方

科目責任者 小 飼 貴 彦 (ゲノム診断・臨床検査医学)

I. 前 文

現代の医療において、診断的中率を上げ、適切な治療を提供するために、臨床検査はなくてはならないものとなっている。この講義では、初期診療でしばしば利用される「ルーチン検査」のうち、適切な活用に習熟が要求される検体検査を取り上げる。症例の検査データを読み込むことにより、臨床各論で履修した基本的内容を検査の視点で再確認するとともに、CCや初期研修で必要とされる思考パターンを身に着けることを目標とする。

II. 受入可能人数

最大6名。

III. 担当教員

小 飼 貴 彦 (ゲノム診断・臨床検査医学)

伊 藤 裕 佳 (ゲノム診断・臨床検査医学)

IV. 学習内容

60分程度の講義の後、実際の検査データを読み、教官を交えディスカッションを行う。最終的な診断に至った後、代表者が簡単なプレゼンテーションを行う。オンラインでの履修も可能。

V. 学修の到達目標

初期診療で利用されるルーチン検査への基本的なアプローチの仕方を習得する。

VI. 成績評価の方法・基準

学習内容に関連した実技試験などを適宜行う。

VII. 教科書・参考図書・AV資料

履修者に PDF で配布予定。

参考書：異常値の出るメカニズム (第7版)

VIII. 質問への対応方法

ゲノム診断・臨床検査医学講座の医局までご連絡ください。

genome@dokkyomed.ac.jp

電話：0282-87-2139

IX. 求められる事前学習、事後学習およびそれに必要な時間

事前学習： 配布資料 (検査データ) を自力で解釈してみる (20分)。

事後学習： 症例についてまとめる (20分)。

X. コアカリ記号・番号

F-2-2 根拠に基づいた医療

F-2-3 臨床検査

XI. 課題（試験やレポート）に対するフィードバックの方法

実技試験の結果を基に、都度担当教員から口頭試問等でフィードバックを行う。

XII. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

*◎：最も重点を置く DP ○：重点を置く DP

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）		
医学知識	人体の構造と機能、種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い、他者に説明することができる。	◎
	種々の疾患の診断や治療、予防について原理や特徴を含めて理解し、他者に説明することができる。	◎
臨床能力	卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け、正しく実践することができる。	◎
	医療安全や感染防止に配慮した診療を実践することができる。	
プロフェッショナリズム	医師としての良識と倫理観を身に付け、患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を実践することができる。	◎
	医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け、患者やその家族、あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。	○
能動的学修能力	医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学修に努めることができる。	○
	書籍や種々の資料、情報通信技術（ICT）などの利用法を理解し、自らの学修に活用することができる。	○
リサーチ・マインド	最新の医学情報や医療技術に関心を持ち、専門的議論に参加することができる。	
	自らも医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち、実践することができる。	
社会的視野	保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し、自らの行動に反映させることができる。	
	医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け、自らの行動に反映させることができる。	
人間性	医師に求められる幅広い教養を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	
	多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	

四
学
年